

プラスチックの資源回収について

1. プラスチック資源化の動き



- (1) 気候変動や海洋プラスチックごみ問題等、地球規模で環境問題が深刻化する中、廃プラスチック類のさらなる発生抑制・排出抑制・資源化の推進が急務となっている。
- (2) 「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が令和4年4月に施行され、プラスチック資源化の動きが加速している。
- (3) SDGs 未来都市である本区においても、現在可燃ごみとしている「プラスチック製容器包装」と「製品プラスチック」をリサイクル資源として収集する仕組みを構築することが喫緊の課題となっている。

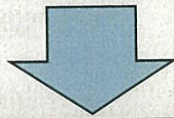
2. 国の動向

「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」

項目		内容	
成 立		令和3年6月4日	
施 行		令和4年4月1日	
趣 旨		①設計・製造、②販売・提供、③排出・回収・リサイクルの各段階において国、市区町村、事業者が役割分担し、プラスチック資源の高度な循環利用の実現を目指す。	
法 の 内 容	段 階	主 体	内 容
	①設計・製造 (つくる)	国	・設計指針の策定、適合した製品の認定、率先調達。
	②販売・提供 (つかう)	事業者	・削減目標を設定し、有料化等により使用量を削減。 ・対象は、ストロー、ヘアブラシ、ハンガー等12品目 ・取組み不十分な企業は公表、罰金。
	③排出・回収 ・リサイクル (すてる)	事業者	・製造・販売事業者による自主回収・再資源化を促す。
		<u>市区町村</u>	<u>・容器包装と製品の一括回収・リサイクル (努力義務)</u>



3. プラスチック新分別ルール (案)

	資源	可燃ごみ	
現 行	<p>●一部のプラスチック製容器</p> <p>白色トレイ</p>  <p>プラスチック製ボトル</p>   	<p>●プラスチック製容器包装</p> <p>マークのついた容器と包装</p>  <p>レジ袋</p>  <p>菓子袋</p>  <p>卵のパック</p>  <p>緩衝材</p> 	<p>●製品プラスチック</p> <p>洗面器</p>  <p>おもちゃブロック</p>  <p>プラスチック製ハンガー</p>  <p>使い捨てフォーク・ナイフ等</p> 



	資源
新 ル ー ル (案)	<p>●「プラスチック製容器包装」と「製品プラスチック」を一括して資源として回収</p>            

4. プラスチック資源化の流れ

主体	役割	内容
区民	分別・排出	・「プラスチック製容器包装」と「製品プラスチック」をゴミ袋に入れ、週1回、決められた曜日に排出する。
豊島区	収集・運搬	・区がプラスチック資源を回収し、選別・保管施設へ搬入する。
	選別・保管	・委託事業者が収集資源を選別・圧縮・梱包（バール品化）し、再商品化事業者へ引き渡す。  
再商品化事業者	再商品化	・再商品化事業者がバール品を製品化する。

5. 豊島区における取り組み

(1) これまでの取り組み

時期	内容
令和3年 7月	・プラスチック新分別ルール（案）に基づく「プラスチック資源回収導入検討調査」の実施 【調査地域】 上池袋四丁目、雑司が谷三丁目、北大塚三丁目、千川一丁目 【調査世帯数】 126世帯 【調査結果】 別紙 プラスチック資源回収導入検討調査の実施結果のとおり

(2) 今後の取り組み（予定）

時期	内容
令和4年 7月	・「プラスチック資源回収導入検討調査」の追加実施（約120世帯）
8月～9月	・プラスチック新分別ルールの策定
11月以降	・モデル事業の実施について対象地区への区民説明会 ・「分別方法のお知らせ」の配布
令和5年 4月～	・一部地区でのモデル事業の実施

※モデル事業での検証結果を踏まえ、区内全域での本格実施へ移行

6. 町会への協力依頼の内容

(1) **プラスチック資源回収導入検討調査（追加調査）へのご協力**

①調査の目的

プラスチック新分別ルール（案）に沿ってごみ・資源を排出、アンケート調査に回答していただき、分別状況やルールの分かりやすさ等を検証し、令和5年4月から予定しているモデル実施に反映します。

②調査時期・期間

令和4年7月 1週間

③調査地域（想定）【モデル事業の実施地域としても想定しています】

エリア	町丁名	世帯数	町会数	町会名	地区	調査世帯
1	西巢鴨三丁目	1,347	3	栄和町会	1	20
				庚申塚町会	1	
				西巢鴨睦町会	1	
	西巢鴨四丁目	1,125	3	巢鴨五丁目朝日町会	1	
				西巢鴨四丁目親交町会	1	
				西巢鴨睦町会	1	
2	目白四丁目	1,989	3	目白山紫町会	5	20
				目白協和会	6	
				西池袋南町会	3	
	南長崎六丁目	2,048	1	南長崎六丁目町会	7	
3	池袋本町二丁目	2,261	4	池袋本町中央町会	11	20
				池袋本町二丁目町会	11	
				池袋本町宮元町会	11	
				池袋本町親和町会	11	
4	駒込一丁目	2,639	1	駒込第一丁目町会	10	20
	駒込二丁目	1,153	1	駒込二丁目親和会	10	
5	千川二丁目	1,311	1	千川二丁目町会	9	20
	要町三丁目	2,194	1	要町三丁目町会	8	
6	東池袋五丁目	3,213	5	池袋通西睦町会	4	20
				池袋日出町会	4	
				東池袋中部町会	2	
				東池袋五丁目本町会	12	
				東池袋五丁目東町会	12	
合計		19,280	23			120

【選定要件】

- ・12地区内から必ず一つ町会が入るようにしました。
- ・区内全域から地域的に偏りがないようにしました。
- ・収集曜日が分かれていないエリアを選びました。

(※) 西巢鴨睦町会は西巢鴨三丁目と四丁目にまたがっているため、該当町会の実数は22町会となります。

④作業スケジュール

時 期	内 容
令和4年4月下旬	★(実施済) 区職員が対象エリアの町会長様を訪問し、調査への協力依頼
令和4年6月	★委託事業者が対象エリアのご家庭を訪問、調査への協力依頼
令和4年6月下旬	★調査協力家庭へ調査セットを配付
令和4年7月上旬	調査実施(1週間) ★各家庭がプラスチック新分別ルール(案)に基づきごみ・資源を排出 ★アンケート調査に回答いただきます

(2)「分別方法のお知らせ」策定へのご協力

令和5年4月からのモデル実施に向けて、令和4年度中に分別方法、排出方法、排出曜日、汚れのついた容器包装の扱い等を分かりやすくまとめた「分別方法のお知らせ」を作成します。

作成にあたっては、「(1)追加調査」のアンケート等で出されたご意見のほか、調査対象地区の協力員の皆様(町会長様、清掃担当者様等)のご意見を伺いながら、区民にとって分かりやすい冊子を作成していきます。

①協力員選出のお願い

各町会から1名(町会長様、清掃担当者等)

②作業スケジュール

令和4年7月 「(1)追加調査」への参加をお願いいたします。

令和4年8～10月 意見交換会への参加をお願いいたします。

(3)モデル事業実施へのご協力

区内全域での本格実施に向けて、まずは令和5年4月から今回の追加調査実施地域において、モデル事業を実施させていただきたいと存じます。

実施にあたっては、事前に対象地域において区民説明会を開催するとともに、「分別方法のお知らせ」を配布するなど、対象地域の方がスムーズに分別できるよう準備を進めていきます。

【スケジュール予定】

令和4年11月以降 モデル実施の実施について対象地区への区民説明会を開催
「分別方法のお知らせ」を配布

令和5年 4月～ モデル事業の実施

【問い合わせ】

豊島区ごみ減量推進課

プラスチック分別収集準備グループ

担当：中井・鈴木

電話03-3981-1320

プラスチック資源回収導入検討調査の実施結果（令和3年度実施分）

1 調査内容

プラスチックの資源回収導入検討の基礎資料とするため、以下の調査を行いました。

(1) 調査対象地区・世帯数

上池袋4丁目 33世帯、雑司が谷3丁目 30世帯、北大塚3丁目 32世帯、
千川1丁目 31世帯、合計 126世帯

(2) 調査期間

令和3年7月12日（月）～17日（土）

(3) 調査内容

(ア) モニター調査

プラスチック新分別ルール（案）に基づいて、ごみを排出していただき、
プラスチック品目ごとの排出量、分別状況等を調査しました。

(イ) アンケート

モニター調査協力者にアンケートを実施し、プラスチック新分別ルールに
対する区民の意識、分別に対する理解度等を把握しました。

2 アンケート調査結果の概要

(1) 実施して感じたこと、思ったこと

ア. 分別について

普通だった	46.7%
簡単だった	28.3%
面倒だった	25.0%

イ. 家庭内での保管について（複数回答）

汚れを洗うのが面倒	50.0%
分別容器がない	42.4%

ウ. プラスチック類を資源として出すときについて（複数回答）

特に問題はなかった	46.7%
風に飛ばされないかが心配	30.8%

(2) 分別に迷った品目とその理由

品目	理由
汚れのついた容器包装	どの程度汚れを落とすか
貼っているシールやボトル等のキャップ	どこまで丁寧に分離させるか
葉包等	プラかアルミか判断がつかなかった

(3) よかったと思う部分（複数回答）

資源の有効活用をしている、環境により行動をしている	87.3%
ごみを減量しようという意識に役立つ	68.6%

(4) よくなかったと思う部分 (複数回答)

汚れたプラスチックをきれいにするのに手間がかかる	50.9%
家庭内での置き場所に困る	38.2%
収集頻度が少ない	36.4%

(5) 導入されたときの、区民の方への周知として効果的な手法 (複数回答)

ごみ集積場での案内表示	71.2%
冊子の全戸配布	65.3%
広報としまでの周知	61.9%
町会掲示板での回覧	57.6%

(6) 日頃のごみ問題への関心

非常に関心がある	53.8%
そこそこ関心がある	38.7%
全く関心がない	0.0%

(7) 関心のあるごみ問題

ごみ削減、街の美化、清掃マナー、食品ロス、CO2排出、海洋プラスチック

(8) プラスチック削減が重要な問題だと思うか

非常に重要だと思う	70.3%
そこそこ重要だと思う	22.0%

(9) プラスチック削減のために日ごろ実践していること (複数回答)

マイバッグの持参	92.3%
詰替え製品の購入	75.2%
使い捨てスプーンなどを受け取らない	66.7%

(10) その他、プラスチック新分別ルール (案) に関する意見等

本調査を通して、家庭内でプラスチックごみの量が多くを占めることを認識した
分別を行うことでごみの削減や資源化への意識の向上につながった
自身のごみ出しを見直し、ごみ問題や環境問題について思い直す契機となった
今回の新分別ルール (案) の導入に賛成する
分別品目や基準の明確化、イラスト等を用いたわかりやすいルール周知を求める
思ったよりもプラスチックの量が多く、回収は週2回にしてほしい